

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区分	映像編集関連技術	科目名	フォトテクニック				科目コード	D0750B1		
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	桂 秀也	履修グループ	2I(DA/DV/MG/SC)				授業方法	演習		
実務経験の内容	フォトグラファー及び撮影会社代表として30年間、広告と舞台の現場に従事。その写真撮影の「テクニック」を実践的に講義します。									
学習一般目標	カメラ、レンズ、照明などの撮影機材を通し、レンズを通した「モノ」の観察と写真表現の技術の習得を目指します。									
授業の概要および学習上の助言	まずは写真撮影における「再現性」にこだわりながら、カメラ機材とその他、業務用機材を使用して実践的な撮影をしていきます。 さらに「データ」を「モノ」へ、実習では撮影データをディスプレイだけではなくプリントアウトし「作品化」することも大事にしています。									
教科書および参考書	「写真の教科書」(株式会社インプレス) 適時プリント資料等の配布									
履修に必要な予備知識や技能	とくにありません									
使用機器	一眼レフカメラ、照明機材一式									
使用ソフト	「フォトショップ」(Adobe)、「ライトルーム」(Adobe)									
学習到達目標	学部DP(番号表記)		学生が到達すべき行動目標							
	1/2		基本的な写真知識の会得、カメラ操作、撮影ができる。							
	1/2		被写体を観察し思い通りに的確なライティングできる。							
	3		講義と実習に意欲をもって取り組むことができる。							
	1/2/4		「ラフ」制作によるプレゼンテーション、発表等で自分のアイデア計画を相手に伝え、最終的にそれを作品制作で表現できる。							
	5		講義と実習に意欲をもって取り組むことができる。							
達成度評価	評価方法		試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	学部DP	1.知識・理解					20			
		2.思考・判断					20			
		3.態度					10			
		4.技能・表現					30			
		5.関心・意欲							20	
	総合評価割合						80		20	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	作品制作、全2回(予定)
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断します。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	学習の目的や目標、使用機材の説明 「カメラ」、「レンズ」について説明します。	講義、撮影実習	この日はいろいろと講義での説明が主ですが、いきなり私が思う写真撮影術の「キモ」である、核心の部分の1つを説明します！ (教科書P82～87)なぜか教科書には重要部分として出てきません…
第2回	「露出について」目的と効果など	講義、撮影実習	「写真の授業」で一番わかりづらいところですが、「写真表現」では一番重要なところですよ。 この授業が全コマのなかで一番大事だと思います。しっかり学習しましょう。 (教科書P8～13、P88～107)
第3回	「ライティング」について	講義、撮影実習	ほかにはない、私が大事にしている写真撮影術の「キモ」核心の部分の2つめを説明します！ (教科書P18～23、P28～31)
第4回	特別授業	講義、撮影実習	学外からゲストをお呼びし、講演と撮影実習を予定しています。(実施日については変更の可能性があります)
第5回	「RAW現像」と「写真編集」・作品制作1の説明	「5-D2」教室でPCによる現像と編集の実習・作品制作1の説明	後日、説明します。
第6回	作品制作1-2	制作実習	後日、説明します。
第7回	作品制作1-3	制作実習	後日、説明します。
第8回	作品制作1-4	制作実習	後日、説明します。
第9回	作品制作1-5(合評) 作品制作2の説明	合評 制作実習	後日、説明します。

第10回	作品制作2-2	制作実習	後日、説明します。
第11回	作品制作2-3	制作実習	後日、説明します。
第12回	作品制作2-4	制作実習	後日、説明します。
第13回	作品制作2-5 (のちに合評)	制作実習 合評	後日、説明します。
第14回	課題解決型授業1	遠隔授業 実施時期:1期	課題1「タイポロジー・フォトグラフィ」
第15回	課題解決型授業2	遠隔授業 実施時期:3期	課題2「料理写真の世界」